



前橋市生涯学習
奨励員連絡協議会

責任者 大井常利

事務局
前橋市教育委員会
生涯学習課内

〒371-0023
前橋市本町2-12-1
K'BIX元気21まえばし
3階

☎(027) 210-2198

下川淵
かるた

活用を広げ郷土愛育む

加藤鶴男氏の思い引き継ぐ

下奨連を中心に下川淵地区の活性化や郷土理解に役立てる方策としてカルタづくりが提唱され、活動の母体となる「下川淵カルタ作製委員会」は平成一八年に発足されました。そこには当時の下奨連会長（前前奨連会長）故加藤鶴男氏の強い思いが込められ、「みんなで作る下川淵カルタ」がキャッチフレーズでした。下川淵地区自治会連合会をはじめ関係団体の協力と広報紙「下川淵アイアイ」をフル活用し、折に触れてPRに努めました。その効果もあって多数の応募作品の中から平成一八年度に読み札が、翌一九年度には子供の応募による絵札が作られ、カルタが完成しました。

アート展・大会・ウォーキング... 町をあげ多彩な行事



加藤鶴男氏
供対象のカルタマップ作り、子

クイズやカルバート壁画作製などが実施されました。完成後一三年が経過しますが、地区内の幼稚園や保育所、小学校などの教育現場での活用にも理解が深まり、幼い子供までがカルタの詞をよく知っています。今回、令和元年五月一日発刊の「下川淵カルタ」前橋学ブックレットNO18はこれらの活動の集大成といえることができます。

カルタ三兄弟を中心に

次に「カルタは普及活動にこそ存在意義がある」とし、活動が組織的に展開できるよう地域づくり連絡協議会に位置付けられました。普及活動の中心はカルタアート展、カルタ大会、カルタウォークの三行事で、「カルタ三兄弟」と愛称で呼び、毎年開催されて参加者も多く定着しています。普及活動のさらなる充実のためにカルタ表示板の設置とマップ作り、子供対象のカルタ

新時代へ向け全奨励員が一同に

前奨連の委嘱状
交付式と総会

任期三年の委嘱年を迎えた前橋市生涯学習奨励員の委嘱状交付式と同市生涯学習奨励員連絡協議会の総会が五月一日に前橋市中央公民館で行われました。

委嘱状の交付式は、市内各町から選出された二八五人の氏名が生涯学習課の若島敦子課長から紹介され、同市生涯学習推進本部長の山本龍市長から依嘱状が渡され、三期九年以上務めた前任奨励員一人に感謝状が贈呈されました。席上、山本推進本部長は「よき地域づくりに一層のご活躍を」と奨励員活動への感謝と期待を述べ、角田雄二自治会連合会長からも「自治会と連携し、地域力の向上に励んで下さい」との挨拶がありました。

前奨連の総会では、新年度の奨励員が一同に集い、まず中山洋子理事の指揮で前橋市の歌「赤城嶺」を歌い上げました。総会では吉田陸事務局長が総合司会を務め、笠原弘副会長の開会の言葉で開幕しました。挨拶では大井常利会長が「学びつつ創造する力を養い、地域の知的環境の向上に活動を」と語り、祝辞で生涯学習推進本部長の山本龍市長と同副

地域へ「学びの輪」を 佳友館長（前橋）の記念講演も

佳友館長は、平成二五年に開館し六周年を迎えたアーツ前橋の活動状況と館運営の理念を主に語りました。美の発信基地を目指す活動では、近代絵画や現代美術の展示をはじめ、郷土ゆかりの画家の作品を新たな視点で紹介するなど地域の人たちと共に開催するプロジェクトなどを語りました。

とりわけ、美術館を通して、多様な市民とのふれあいを図る事業も紹介し関心を集めました。研修会の終了後、深谷茂副会長の講師への御礼の言葉があり閉幕しました。

(広報委員会)

◆生涯学習フェスティバル2019 郷土かるた紹介の企画も

今年も「二部構成で広報紙研修会」

全奨励員が参画し、地域づくりの活動を紹介する「生涯学習フェスティバル」が八月二四、二五の両日に前橋市中央公民館で計画されました。

催しは一二のコーナーに分かれ、多彩な

企画展が展開されました。前奨連の関係では「わがまち広報紙まつり」「テーマ展示」「わがまち紹介」「昔あそび・リサイクル工作ひろば」「郷土かるたコーナー」「富士見、下川淵地区」を開催。さらに、広報紙まつりに合わせ、「二部構成で「広報紙研修会」があり、郷土かるたコーナーに関連して、ホールで、かるたの拡大映像を基に二地域の魅力を紹介する講演会も企画されました。

本部長の塩崎政江教育長と共に「活気ある地域

地区だより (36)

学び合い育て合う

地域づくり目指して

五中地区奨励員会長

鈴木 政太郎

地域の学舎「生きがい塾」

昭和五六年にスタートした「高齢者教室」が、群馬県生涯学習センターという会場に恵まれたこともあり、「生きがい塾」と名称を変えて、地域の学舎として大きな役割を果たしてきましたが、今年度第三九期を迎えました。

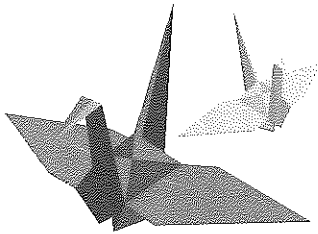
例年、開講式から閉講式まで、研修旅行を含めて十回の講座を計画し、内二回を公開講座としていますが、今年度は、講師に元ヨルダン大使の小畑紘一氏を招き、「中東について」と題して、自身の体験を踏まえての外交官の生活や、紛争の絶えない中東の歴史と現状についての講話を頂きました。

群馬天台雅楽会の皆さんによる、管弦打楽器による合奏形態で、「世界最古のオーケストラ」と呼ばれている雅楽演奏「いにしへの調べ」雅楽を知ろう」を実施しました。共に、会員以外の参加者も多く、講話や雅楽の演奏に引き込まれ、感動し、充実した時間を過ごしました。

五中生によるボランティア活動

地域の子供が集い・ふれあう「少年の日」事業として、八町の自治会や育成会が中心となり、「のびゆくこども」つどいとふれあい広場「かるた大会」「しめ縄づくり」「どんどこ焼き」などを実施していますが、どの事業にも多数の五中生がボランティアとして参加をしています。

「のびゆく…」では会場の準備、後片付けから、開・閉会式の司会、各コーナー（ジャンボシャボン玉やモビル作り、折り紙、ゲームなど）での園児・小学生への指導や屋台の販売の手伝い、「かるた大会」の審判、「しめ縄づくり」の手伝いを行い、「どんどこ焼き」では、竹採りから始まり、土掘り、やぐら造りや豚汁作りの手伝いなど、活動は様々ですが、地域のひとふれあひながら、多くの事を学んでくれています。



生涯学習奨励員。いま、わが町で。

県外への研修の旅や

創作活動促す展示会も

三中地区・岩神町三丁目奨励員

町田 悟

岩神町三丁目は、広瀬川と利根川、岩神五間道路・富士機械本社工場と県道前橋・箕郷線に囲まれた町です。

三丁目の生涯学習では毎年主に二つの行事を行っています。春の研修旅行と秋の文化祭（作品展）です。

以前は秋に研修旅行を行っていましたが、岩神地区の市民運動会や各団体の諸行事が多く、旅行日を設定しづらいため、近年は五月の連休が終わった後、六月の梅雨に入る前の時期を選んで行っています。町民誰でもが参加できるように日曜日に設定しています。そのため毎年、僅かですが会社員等の方や中高生の参加も見られます。

大型バス一台で実施していますが、一番苦心しているのは見学地の選定です。年齢、性別、趣味等に多様な町民のニーズに応えなくてはなりません。興味・関心がもてる場所、見学したことが後で活かせる場所、難しい話ではなく楽しく学べる場所等を考えて選んできました。以前は県内や隣県に行ってきましたが、近年は圏央道等が整備されたので、マイカーでは簡単に行けない遠方へも行っています。今年は潮来アヤマ祭り、佐原重伝建地区、予科練平和記念館でした。

文化祭は「文化の日」前後の土・日曜日に三丁目公民館を会場に開催していま

す。作品は絵画、書、写真、手芸品、工芸、盆栽・園芸、文芸、出版物等広く展示しています。出品は玄人並みの作品も多いのですが、日々の趣味として創作している物だけでなく、誰でも空き時間にちよつと作ってみた物も出品して貰っています。誰でも「私もやってみようかな」と思え、創作活動が広がると良いなと思っています。

失われつつある里山の

自然回復への願い込めて

芳賀地区・嶺町奨励員

井上 金治

私の住む嶺町は田畑に囲まれ、里山の自然を楽しむことができます。そんな嶺町ですが、高齢の私には戦後間もないころの里山の原風景を忘れることができません。それは現在とは比較にならないほど自然が豊かでした。私は栃木の田舎町で育ちましたが、水田や小川にはドジョウやウナギ、イモリが棲息し、オニヤンマが飛び交っていました。

しかし、一九六〇年ごろになると、我が国の里山からこれらの生きものたちが減り始めました。同じころレーチェル・カーソンの「沈黙の春」がベストセラーになり、農薬や化学物質の問題がクローズアップされました。そして、環境への影響が強く、残留毒性の高いDDTなどの有機塩素系殺虫剤が禁止され「沈黙の春」は人々の関心から遠のいていきま

我が国の豊かだった里山の原風景は何千年も長い間、人と生きものが見事に共生して育んできました。そして、その美しい里山の風景は「赤とんぼ」「手の平を太陽に」などの唱歌を生むなど、私たち日本人の心を支えてきました。その里山の自然が半世紀ほどの短期間に急速に失われてしまったのです。私は里山の原風景を知る生き証人として、町内報などに自然とのかかわりの大切さを綴ったり、環境保全活動を細々と行ったりしています。

南橋地区・関根地区奨励員

小倉 岳

自治会では、この広報紙を一六二号より全面カラーにして町民へ配布し四年目になります。写真も綺麗で鮮明、雰囲気がよく

宮城地区・鼻毛石地区奨励員

北
爪
康
行

宮城地区の鼻毛石町では、毎年七月に第二回いきいきサロンとして、三代代交流グランドゴルフ大会を開催しています。



グラントで交流する三世代

ルフは町内に住む小学生と、その保護者と、老人クラブの皆さんとの三世代の交流を目的として自治会

わかくと好評を頂いています。一面より町内のことを紹介するようにし、最近号では育成会の新入学生歓迎バーベキューの様子や公民館の塗装塗り替え完成の記事を載せました。毎回「いろいろご紹介」では、様々なものの紹介をし、ある時は関根町の定点より撮影した今昔の写真を載せ、遠い昔を思い出していたいたり、町内の様々な活動をしている団体の紹介をし、メンバー募集なども行っています。皆さんにお手伝いいただいた発行できている「せきねまちだより」のカラー化はみなさんに喜ばれています。

が主催。鼻毛石町五組の各組長、保健推進委員、民生委員、スポーツ推進委員、老人クラブ、子ども会育成会、女性協力員、生涯学習奨励員の協力のもと行われます。

今年は七月一三日（土）に開催され参加者は六九名でした。

顧		問	島	田	兼	之	(城	南	地
会		長	大	井	常	利	総	社	区)
副	会	長	笠	原		弘	(大	胡	区)
副	会	長	深	谷		茂	(永	明	区)
事	務	長	吉	田		陸	(永	明	区)
會		計	福	田	覚	司	(城	南	区)
監		事	中	山	洋	子	(芳	賀	区)
監			中	川	春	雄	(東		区)

◆ 理 事 ◆

中川原孝信 (一中 地区)	篠原 豊 (旧二中地区)
飯塚 宗夫 (三中 地区)	関 壽夫 (旧四中地区)
鈴木政太郎 (五中 地区)	星野 和則 (上川淵地区)
持田みね子 (下川淵地区)	中山 洋子 (芳賀 地区)
吉岡 一男 (桂萱 地区)	中川 春雄 (東 地区)
林 悦実 (元総社地区)	大井 常利 (総社 地区)
福島 吉完 (南橘 地区)	田村 孝夫 (清里 地区)
深谷 茂 (永明 地区)	福田 覚司 (城南 地区)
笠原 弘 (大胡 地区)	鳥塚 啓二 (宮城 地区)
坂本 守明 (粕川 地区)	小林 勇 (富士見地区)

若いお母さん達は、グラントゴルフがはじめての人も多く、クラブの持ち方や力のかげんなど、ペテランのおじいさん、おばあさんに教えてもらいながら、ワイワイと楽しく熱戦を繰り広げました。

また、熱戦の合間には、自治会役員の作る、かき水やポップコーンをつまんだり、お昼には女性協力員さんが大鍋で作った、おいしいカレーライスをみんなでいただく、ふだんなかなか交流の少ない三代代の人たちが、楽しく一日を過ごしました。

また、大会終了後には表彰式が行われ、順位表彰の他、ホールインワン賞、八五歳以上に高齢者賞、小学一年生に低年齢者賞が贈られ、全員に参加賞が渡されました。

感謝の帽子
を贈られた島田顧問

島田顧問に感謝の記念品を贈呈
前翼連理事が交流会

で開きました。席上、三三年間にわたり、前奨連活動に尽くし退任された島田兼之顧問に、前奨連からの感謝の記念品(帽子セツト)が大井会長から贈呈されました。

交流会では、各理事が親しく、近況や町の動向などを話し合い、有意義な集いとなりました。



感謝の帽子
を贈られた島田顧問

前奨連は新しい理想の親睦を深める恒例の交流会を前橋市内の店で

☆新任奨励員の研修会

実践活動の進め方を学習

任期替えの年度に合わせた新任生涯学習奨励員の研修会が六月一三日に中央公民館

で開かれました。講師は生涯学習課、社会教育係の青木滋旺璃主事と前奨連の島田兼之顧問が務め、生涯学習の進め方など入念な資料を基に講義が行われました。

「前橋市の生涯学習について」

前橋市生涯学習課主事

青木 滋旺璃

一、生涯学習とは 人が生涯にわたり学び、学習の活動を続けていくことであり、教育



学びのボランティアとして

基本法第三条に示すその理念の説明がありました。また、個の学びを地域社会に還元し、より良い地域づくりに資すると言う考え方等々。

二、市が進める生涯学習の取り組み 市は各自治会から一人づつ選出される生涯学習奨励員制度を昭和六一年に発足、令和元年は発足以来三三年目になります。奨励員の役割としては町の人々の様々な生涯学習活動を奨励・援助する「町の学びのボランティア」であることが期待されています。

「前橋市の生涯学習推進の手立て」

生涯学習推進の現状と課題

前奨連顧問

島田 兼之

生涯学習は、昭和三十年代初頭から四十年代終盤まで続いた高度経済成長及び寿命の延伸等々の社会の変化により、その必要



自治会と共に熱意を持って

性が高まってきました。

前橋市は昭和六一年「市民として生きがいのある生活を築こう」という基本方針のもと各自自治会に一人の奨励員を置く生涯学

習奨励員制度を設置しました。奨励員の活動は、文化関係・世代間交流事業・スポーツレクリエーション行事・町の広報紙の発行等々多岐にわたりますが、一部の町では自治会との相互理解が不十分で本来の活動が出来ていないところもあるようです。奨励員はあくまでも自治会組織の一員として自治会事業の中で活動すると言う意識を持つが肝要ではないでしょうか。

奨励員の役割である

いは心構えとして

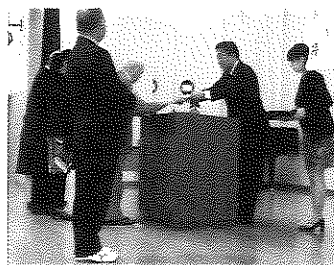
は、地域の実情・実態をじっくりと充分

に把握して：学びの環境・条件を整える（学びのボランティア）に徹すること：が必要で熱意を持って地道な努力を続ける事が大切だと思えます。（研修委員長 笠原 弘）

ご苦労さまでした

退任奨励員14人に感謝状

任期九年以上にわたり奨励員を務め、退任された次の十四人の方々に感謝状が贈呈



山本市長から感謝状を受ける退任の奨励員

されました。地域づくりへの長い間のご活躍、ほんとうに、ご苦労さまでした。

あゆみ (4月〜7月)

Ⅱ 主要事項

- 4・9 総務委員会▼理事会対応案件
- 4・23 第1回理事会▼31年度事業・予算等総会関連▼31年度総会・研修会関連▼31年度委嘱状交付式関連▼新任奨励員研修会計画関連
- 5・7 総務委員会▼総会関係資料作成関連・作業
- 5・15 令和元年度委嘱状交付式および退任奨励員感謝状贈呈式 ▼令和元年度総会および研修会
- 5・31 生涯学習フェスティバル2019 第1回代表者会議▼行事開催計画 (8月24日・25日開催予定) ▼総務委員会▼フェスティバル特設コーナー郷土かるた開設▼フェスティバル広報紙づくり研修関連▼フェスティバルパネル展示関連
- 6・7 総務委員会▼理事会対応案件

荒井 達郎 (千代田町二丁目)	品川 貞雄 (富士見町原東)
鈴木 密夫 (本町一丁目)	青木 英之 (市之関町)
井下 隆造 (南町二丁目)	島田 兼之 (西大室町)
磯野 貞男 (南町四丁目)	藤生 武男 (荒口町)
戸塚 隆久 (城東町三丁目)	高橋 初江 (朝日が丘町)
田子 智代 (文京町二丁目)	河崎 清松 (堤町ロースタウン)
碓井 久雄 (山王町一丁目)	北原 芳郎 (堤町ロースタウン)
確井 久雄 (山王町一丁目)	河崎 清松 (朝日が丘町)
高橋 初江 (朝日が丘町)	高橋 初江 (朝日が丘町)
藤生 武男 (荒口町)	藤生 武男 (荒口町)
島田 兼之 (西大室町)	島田 兼之 (西大室町)
青木 英之 (市之関町)	青木 英之 (市之関町)
品川 貞雄 (富士見町原東)	品川 貞雄 (富士見町原東)

◇奨励員情報 (敬称略)

☆前橋市社会教育活動功労者表彰

▽2月1日付

中山 洋子 勝沢町

☆新任

▽6月1日付

志村 長永 滝窪町

▽6月15日付

岩村 知幸 上朝倉町